

ゆ り きみ まさ



# 福井に **由利公正** あり



- 五箇条の御誓文の草案を起草
- 廃藩置県（明治4年）後 初代東京府知事  
東京不燃化計画を作成し、銀座大通りを拡幅  
現在の銀座の街並みの原型を作りました

※由利公正は福井県が生んだ幕末維新の偉人です。

福井は幕末維新期の偉人を主人公とした**大河ドラマ誘致**を目指しています

※facebookやtwitterでの情報発信をお願いします。



# 由利公正

(1829~1909)



## 【略歴】

生没：文政12年（1829）～明治42年（1909）幕末の福井藩士。明治維新まで三岡八郎を名乗る。

- ・文政12年（1829）福井城下毛矢に生まれる。
- ・福井に来遊した横井小楠の学問に影響を受け、藩財政を研究。殖産興業策を進め、藩財政を黒字化した。
- ・慶応3年（1867）、坂本龍馬が八郎のもとを訪れ、新政府への参画を要請、新政府の参与となり財政を担当。
- ・慶応4年（1868）「議事之体大意」を著し、後の「五箇条の御誓文」の原型となる。
- ・明治4年（1871）には廃藩置県後初代東京府知事となり、翌年、岩倉欧米視察団に随行。
- ・その後元老院議員、貴族院議員を務める。
- ・満79歳で没。

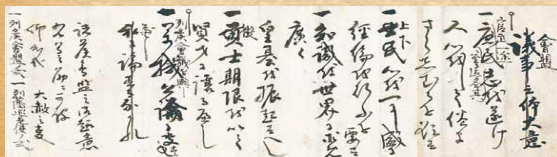
①「五箇条の御誓文」の草案を起草

②我が国最初の全国通用紙幣である「太政官札」を発行

③新たな産業や資本主義の育成により、国家の近代化や国富を推進する「殖産興業政策」を推進

④府知事任命後に発生した大火を受け、銀座大通りの拡幅や不燃性の煉瓦建築等、「東京不燃化計画」を策定・実行

⑤板垣退助らと「民撰議院設立建白書」を提出し、政府に対して国民選出議員による議会開設を要望



議事之体大意  
（「五箇条の御誓文」の原案）



太政官札



煉瓦銀座之碑  
（銀座一丁目交番）

